

関係各位

2015年12月17日
大鵬薬品工業株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社

—大鵬薬品工業と Meiji Seika ファルマー—
新規経口アレルギー性疾患治療薬 TAC-202(ビラスチン)
国内共同販売契約締結のお知らせ

大鵬薬品工業株式会社（本社：東京、代表取締役社長：小林 将之、以下 大鵬薬品）と Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京、代表取締役社長：小林 大吉郎、以下 Meiji）は、大鵬薬品が本年11月に製造販売承認申請を行った新規経口アレルギー性疾患治療薬 TAC-202（一般名：ビラスチン、以下 本剤）について、国内における共同販売契約を本日締結したことをお知らせします。

本契約に基づき、Meiji は日本における本剤の共同販売権を取得し、大鵬薬品が本剤の製造販売承認を取得した後、医療従事者への情報提供活動を両社で実施します。Meiji は契約一時金と販売額の目標達成に応じたマイルストーンを大鵬薬品に支払います。

本剤は、スペインのファエス・ファルマ社（本社：レイオア、社長：Mariano Ucar Angulo、以下ファエス社）が創製した新規有効成分の第二世代ヒスタミン H₁ 受容体拮抗薬で、2010年に欧州で承認されました。大鵬薬品は、ファエス社と2012年7月に日本での開発販売権に関するライセンス契約を締結し、本剤の開発を行ってきました。海外では、「アレルギー性鼻炎、蕁麻疹」を効能・効果として90以上の国・地域[※]で承認され、ファエス社と多くの企業とのライセンス契約のもと販売されています。

※：2015年5月現在（最新）

大鵬薬品と Meiji は、今後も免疫・アレルギー領域において、患者さんと医療に携わる方々により一層貢献できるよう努めてまいります。

【ファエス・ファルマ社について】

ファエス・ファルマ社は、スペインの医薬品業界のリーディングカンパニーの一つであり、新薬の開発、製造および販売に注力しています。また、ポルトガル、ラテン・アメリカおよびアフリカにも強力なプレゼンスを持つとともに、ビラスチンを中心に国際化に向け邁進しています。